

気候変動に対応するため、既設ダムを最大限有効活用した治水機能の強化、  
水力発電の促進等の方策について有識者からご意見を頂いて議論します  
～第3回「気候変動に対応したダムの機能強化のあり方に関する懇談会」の開催～

気候変動に伴う豪雨の頻発・激甚化等に対応するため、ダムの治水機能の強化を図るとともに、気候変動緩和策として、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しない水力発電を促進する「ハイブリッドダム」の取組の推進をはじめ、ダムに関する諸課題への対応に向けて助言を頂くため、第3回「気候変動に対応したダムの機能強化のあり方に関する懇談会」を開催します。

【会議について】

- 日時：令和5年11月30日（木）10:00～12:00
- 場所：中央合同庁舎3号館2階 水管理・国土保全局A会議室 および 各委員所属場所等
- 委員：別紙のとおり
- 議題：（1）ハイブリッドダムについて  
（既設ダムの発電施設の新増設について -公募に向けた事業スキーム等の方向性整理-）  
（2）ダムに関する取組について  
（ダムによる事前放流の強化、ダムの管理を行う中での課題への対応等）
- その他：
  - ・会議はWEB会議方式にて、公開で行います。
  - ・WEB上でのみ傍聴が可能です。回線容量の都合上、傍聴の接続は1人・1社（団体）につき1回線までとさせていただきます。
  - ・議事の一部を非公開として進行する場合がございますが、あらかじめご了承ください。
  - ・WEB傍聴を希望される方は、11月29日（水）15:00までに以下の申込みフォームよりお申込みください。期日までにご連絡頂いた方にWEB会議傍聴用URLおよび会議資料を送付します。

申込みフォームURL：<https://questant.jp/q/E2K0J74P>

※申込みフォームより取得した個人情報適切に管理し、WEB会議傍聴用URLおよび会議資料の送付以外の用途に利用いたしません。

- ・本会議資料及び議事録は、後日、国土交通省ウェブサイトに掲載予定です。
- ・ハイブリッドダムの取組については、以下の国土交通省ウェブサイトに掲載しています。

[https://www.mlit.go.jp/river/dam/pdf/hybrid\\_dam\\_kongo.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/dam/pdf/hybrid_dam_kongo.pdf)

【問い合わせ先】

[メールによる問い合わせ] E-mail アドレス：[hqt-hybriddam@mlit.go.jp](mailto:hqt-hybriddam@mlit.go.jp)

[電話による問い合わせ]

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川計画調整室 梯、田住

TEL: 03-5253-8111(内線 35352)、03-5253-8445(直通)

気候変動に対応したダムの機能強化のあり方に関する懇談会  
委員名簿

- 石田 純一 気象庁情報基盤部 数値予報課長
- 上坂 博亨 全国小水力利用推進協議会 代表理事  
富山国際大学現代社会学部 教授
- 川崎 将生 国土技術政策総合研究所 河川研究部 水環境研究官
- 角 哲也 京都大学防災研究所 教授
- 松本 真由美 東京大学教養学部附属教養教育高度化機構  
環境エネルギー科学特別部門 客員准教授
- 山口 直也 青山学院大学大学院会計・ロケーション研究科 教授
- 山口 嘉一 (一財)ダム技術センター 理事